



青葉の森公園芸術文化ホール イベントレポート

当ホール主催の公演・講座の雰囲気をおみなさまに発信する「サポーターライターズ」の方によるレポートをお届けします。

EVENT REPORT

平成30年
2月18日[日]

SAMURAI SPIRITS 剣伎衆かむみ featuring 中西俊博

出演

剣伎衆かむみ

島口 哲朗・田中 あきはる・佐藤 有・松村 裕美

剣伎道

吉岡 裕教・阿知 和伸・瀬川 純樹・市川 茂樹ほか

ゲスト

ヴァイオリン

日本舞踊

中西 俊博

藤川 澄十郎・藤川 新之輔・藤川 春信・仲澤 大樹・若松 純子



恥 ずかしながら、殺陣を「たて」と読むと知ったのはずいぶん大きくなってからであった。めっぽう強い主人公の侍が悪人をバツバツと斬り倒していく、時代劇でお馴染みのあのシーン、それが殺陣だ。あんなに簡単に人が斬れるかどうかはさておき、殺陣には美しい形式美がある。

今回のステージは、それを更にエンターテイメントとして進化させたステージだった。90分ノンストップの舞台で、一人の強い侍を中心としていくつかのストーリーが展開する。

ただ、客席はずっと暗いので途中にパンフレットを読めず、どの演目を演じているのか私にはよくわからなかった。張りつめた空気の中で、緩急はつきりした無駄のない動きが映える。そして、中西俊博氏の演奏が更に雰囲気盛り上げる。能舞台の袖で、ヴァイオリン、打楽器、声を使いひとりで巧みに処理して、BGMと効果音を兼ねた迫力ある音を繰り出していく。

最後に日本舞踊のショーがあり、こちらは殺陣とはまた違った優雅な動きが美しかった。

終演後2階会議室で、出演メンバーによるワークショップが開催された。子どもを含め40人位いたろうか、大盛況である。主宰者の島口哲朗氏は、「剣技道の目的は人を痛めつけることではなく、相手を知ること、コミュニケーションを学ぶことで、礼が大切」と説明された。舞台では気迫のこもった孤高の侍を演じたのでこわい人かと思ったら、とても優しいような方で、子どもにも分かりやすく丁寧に指導していた。殺陣は初めてという参加者も多かったが、どうしたら恰好よくポーズが決まるかという先生の教えを真剣に聴き、目を輝かせて稽古している姿が印象的だった。

サポーター(ライターズ)伊藤 正子